

よもよも

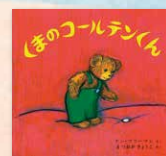
2022
vol.27

豊田中央図書館だより

ここは、
わたしの青春の場所



柚子ちゃんの好きな本
『わたしのワンピース』
にしきかやこ / え・ぶん
こくま社
請求記号 E/ニシ/



みなみさんの好きな本
『くまのコールテンくん』
ドン=フリーマン / さく
まつおかきょうこ / やく
偕成社
請求記号 E/ワリ/

西みなみさん
服作りが得意。撮影日の、
とても可愛いお揃いの
お洋服は西さんの手作り！

ゆず
柚子ちゃん (3歳、左)
あんず
杏子ちゃん (1歳、右)

わたしと、
図書館

vol.17

あなたにとって豊田中央図書館はどんな場所ですか？
利用者さんに、図書館のお気に入りスポットで話を聞きました

待ち合わせは一階の大画面前！
学生時代から参合館が大好き。

「中学、高校時代の遊ぶ場所といえば、とりあえず参合館でした。」豊田市出身の西さんにとって、豊田中央図書館は学生時代の思い出の場所。

「学区内に豊田中央図書館があったので、行けば誰かしら友だちに会えるって感じでした。パンプ（パンプオブチキン）のCDを借りたり、映画を見に行く感覚で個室（現在は感染症対策で閉鎖中）でホラー映画のDVDを観たりしていました。絵本が大好きなので高校生になっても児童コーナーへ行って絵本を読んだりも。お腹がへつたら6階の休憩室でお菓子を食べて…。大きくてもあつて本当に良い場所です。学生時代を過ごせました。」図書館は一人で読書をする場所だけでなく、西さんのように読書以外にも多様に楽しんでいただけの場所なのだ！

「受験勉強も図書館でしていましたし、成人式は参合館の能楽堂だったので、ここはまさに青春の場所ですね。大学、社会人時代には少し離れていたのですが、子どもが生まれてまた図書館に戻ってきたら、ここが良い意味で変わっていきなくて安心しました。図書館は学生時代の青春の場所でもありますし、これから先も親子でつきあっていく場所です。」



ゲルハルト・リヒター（2018年）photo kw
©Gerhard Richter 2022 (07062022)

ゲルハルト・リヒター（1932年～）

ドイツ東部のドレスデンに生まれる。60年以上に及ぶ芸術活動の中で、具象・抽象絵画、ガラスを使った作品などを手掛ける。現代で最も重要な画家の1人。

教えて！現代アートの楽しみ方 もっと楽しむ「ゲルハルト・リヒター」 豊田市美術館 学芸員 鈴木さんインタビュー



世界的建築家・谷口吉生氏による建物が印象的な豊田市美術館で、現代アートの巨匠「ゲルハルト・リヒター」展が開催中です。展示会の見どころやウラ側、美術館のおすすめスポットなどについて、学芸員の鈴木さんにお話をうかがいました。

現代アートの巨匠リヒターの 60年の画業をたどる展覧会

まずは「ゲルハルト・リヒター」展についてお聞きします。今年、東京と豊田市で展覧会が開催されることになった経緯を教えてください。

鈴木 美術館の使命の一つに「今現在評価されている作品を展示して多くの人に見てもらおう」ということがあります。特にリヒターは、彼抜きでは現代美術を語ることはできないほど重要な作家なので、いつか展示して紹介したいと思っていました。豊田市美術館は、国内では珍しい20世紀ヨーロッパ美術に強い美術館です。ドイツの画家であるリヒターを紹介することは、豊田市美術館の所蔵品のことを知ってもらう相乗効果もあると思っています。最初にリヒター本人から「東京の美術館で展覧会をしたい」という話があり、他にどこでやるかとなった時に豊田市美術館が手をあげて、開催することになりました。

ー現代アートという難しく思われがちですが、東京展の来館者数は14万人だったそうですね。老若男女多くの人を惹きつける、リヒターの魅力とは何だと思えますか？

鈴木 ひとは、具象絵画も抽象絵画もあるという、間口の広さだと思います。作品はパッと見て格好よく、目を惹きつけます。また、作品にガラスや鏡が使われていることで、あたかも見る人がその空間に取り込まれる様な体験ができること。彼の作品は「見る」「わかる」という根本的なところを問いかけていて、それは誰もが生きている間ずっとやり続け



1982年生まれ。豊田市美術館の学芸員として、2008年より勤務。展覧会やイベントの企画や小中学生向け鑑賞会の受入れ他、所蔵作品の管理・修復・展示、建物の管理など、学芸員の仕事は多岐にわたる。

ている行為で、作品の前に立つと改めてそれを考えさせられるんですね。体験してみると奥行がグッと深まる、その感覚が人の心に響くんじゃないかと思っています。

ー展示作品の中にはガラスの作品がありますが、作品の搬入や展示について聞かせてください。

鈴木 作品の展示には、大変な精度が求められます。例えば《8枚のガラス》という作品は、組み立てをガラス屋さん頼むなど、通常の展覧会では依頼しない専門の方にも協力してもらったことがありました。複数のパネルの上部をビタリと合わせる、ミリ単位での修正が必要で、なかなか大変でした。あと、おもしろかったのは《4900の色彩》というカラーチャートの作品の展示です。5色×5色で構成されたパネルが196枚あり、その組み合わせで作品を作りますが、並べ方は指定されていないので、展示をしながらその場の偶然でできあがるんです。展示する壁の大きさによって自由に変えられる作品です。精度が求められる部分と偶然に身を任せたいという部分、リヒターの作品は両極端なんです。

よもよも×豊田市美術館

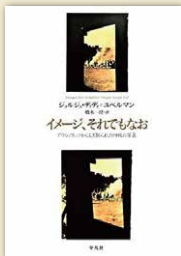
中央図書館3階にてリヒター特集展示開催中
鈴木さんオススメ本をピックアップ紹介



『ART SINCE 1900 図鑑 1900年以後の芸術』
ハル・フォスター / ほか著
尾崎信一郎 / ほか日本語版編集委員
東京書籍 請求記号 702.07/70/
リヒターの友人ブークローを含む、美術史家・美術評論家5名が、20世紀以降のアーティストや芸術運動、思想などを時系列で解説する「アートの教科書」。※貸出できない本です。館内でご覧ください。



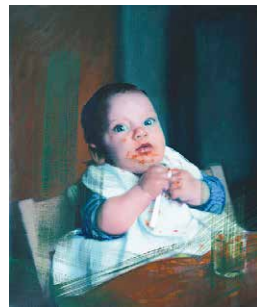
『ゲルハルト・リヒター 写真論／絵画論 増補版』
ゲルハルト・リヒター / ほか著
清水穰 / 訳 淡交社
請求記号 723.34/リ/
著名なジャーナリストや美術評論家によるインタビューと、ドイツ赤軍を題材とした連作《1977年10月18日》についての対談、そしてリヒターが1962年から92年までに書いた日記やノートをもとめた一冊です。



『イメージ、それでもなお』
アウシュヴィッツからもぎ取られた四枚の写真』
ジョルジュ・ティティ＝ユベルマン著
橋本一径 / 訳 平凡社
請求記号 234.07/デ /
アウシュヴィッツにおいて、密かに撮影された4枚の写真。そこから読み取れる真実と、そのイメージから何を想像するのかを、著者は問いただしています。リヒターはこの4枚の写真から《ビルケナウ》を描きました。



『私のティーアガルテン行』
平出隆 / 著
紀伊國屋書店
請求記号 914.6/ヒ /
詩人・作家として創作活動続ける著者が、影響を受けた人々や出来事について書いたエッセイ。第4章では、リヒターの作品に感じた衝動や、彼のアトリエを訪ねた際の出来事などが書かれています。



《モーリッツ》2000 / 2001 / 2019 年
[CR 863-3] 油彩、キャンバス
62x52cm 作家蔵 ©Gerhard Richter
2022 (07062022)

—作品はどのように輸送されたのでしょうか？

鈴木 ドイツから東京へは空輸で、東京からは10トン車4台、4トン車1台で運びました。今回の展示作業には1週間程かかりました。海外から作品が来る場合、運び込んだ後一つ一つ作品に傷がないかなどのチェックをしなければなりません。ドイツで作った調書を元に、修復家が2〜3日かけて全作品のチェックを行いました。前述のカラーチャートの作品も、196枚全てチェックしました。修行のようでしたよ（笑）。また今回は照明がすごく凝っていて、調整に丸2日かかりました。自然光が入る空間で作品を鑑賞できるのが豊田市美術館の特徴で、これは東京会場ではできなかったことです。天井にあるガラスから自然光が入ると作品の色の見え方が全然違って、東京会場では見えなかった鮮やかな色彩がきれいに見えます。豊田では作家が大事にしていることが分かります。すぐ鑑賞できると思います。

—東京で見た人も、豊田でもう一度見たら、印象が違うかもしれないですね。また、豊田では、展示会場の最後に東京にはなかった水彩作品の写真エディションが展示されていますね。

鈴木 水彩の作品は、作品準備のタイミング的に、東京には間に合いませんでした。東京は白黒のドローイング作品で展示が終わっていたのでちょっとさみしいなと思って、豊田では少し違うことをやろう、カラフルできれいな作品で終わるといいなと思って展示しました。作品の見え方も展示の構成も東京展とはまた違うので、東京で一度見た方も、ぜひ豊田へも足を運んでいただきたいと思います。

—ちなみに鈴木さんが「一番好きな展示作品は何ですか？」

鈴木 カラーチャートの作品です《4900の色彩》。パネルを組み合わせて偶然に形ができてしまつところや、展示しながら作家の制作に関わっていくことになるのが楽しいです。

—最後に、現代アートを楽しむコツを教えてください。

鈴木 豊田市美術館には若い来館者も多いのですが、最近の若い人たちは、現代アートをかっこよく写真に撮って、それをSNSにアップするなど、カジュアルに楽しんでいます。難しく考えずに、おしゃれだな、かわいいなと気になる作品があれば気軽に美術館に足を運んでもらって、自分のお気に入りのアートを見つけてみるのいいと思います。見た目のおもしろさの裏側に、深い文脈やしかげがあるのが現代アートのおもしろさでもあるので、全然違う世界に連れて行ってくれるはずです。美術館にはたくさんの作品があるので、その中から「自分が好きなのはこれ！」といった見方をしていくと、「新しい自分の発見」にもつながっていくのではないかと思います。



《ビルケナウ》2014年 [CR 937/1-4] 油彩、キャンバス ゲルハルト・リヒター財団
ドレスデン・アルベルティヌム美術館での展示風景 (2015年) Photo: David Brandt,
courtesy Gerhard Richter Archive, Dresden ©Gerhard Richter 2022 (07062022)

展覧会 「ゲルハルト・リヒター」 会 期 2022年10月15日[土]—2023年1月29日[日]
会 場 豊田市美術館 〒471-0034 豊田市小坂本町8丁目5番地1
開館時間 10:00-17:30
休館日 月曜日[1月9日は開館]、年末年始[2022年12月28日-2023年1月4日]
観覧料 一般1,600円[1,400円] / 高校・大学生1,000円[800円] / 中学生以下無料
[]内は団体料金、オンラインチケットは100円割引です。



学芸員 鈴木さんの おすすめスポット

ちゃしつ どうじえん
茶室「童子苑」

美術館庭園内にある童子苑は、美術館と同じ、谷口吉生氏による設計。美術館で非日常体験を楽しんだ後は茶室でゆったりくつろいでみてはいかがでしょうか。

▲庭園の新緑や紅葉を眺めながら、立礼式で気軽に
お茶と季節の和菓子をいただくことができます

図書館スタッフの わたしの好きな本

『脳が壊れた』

鈴木大介 / 著
(新潮社刊)
請求記号 916/ス /



人に歩み寄ることの大切さを教えてくれた1冊

私はルポルタージュが好きで、特に社会病理に関するルポをよく読みます。この本は社会的弱者への取材をしてきたルポライター・鈴木大介氏の闘病記です。脳梗塞により注意欠陥等の「見えない障害」が残る中気付いたのは、取材相手の不可解な行動と己の後遺症との共通点。あの行動はもしや脳のせい?当事者でなければわからない辛さや困難を、ルポライターならではの観点でユーモアたっぷりに描いています。自らを省みて、人に歩み寄ることの大切さを教えてくれた1冊です。

スタッフ 甲斐田
好きなものは鶏肉料理



入選者の皆さまおめでとうございます!

調べる・伝える学習コンクール表彰式



市長賞を受賞した
森本 菜名さん

11月20日(日)に「第10回豊田市 学校や地域の図書館を使った調べる・伝える学習コンクール」の表彰式を実施しました。今回は特別審査員に、光触媒研究の第一人者である藤嶋昭氏(東京理科大学栄誉教授、豊田市名誉市民)をお迎えして、審査を行いました。審査の結果、応募総数 6,345 点の中から入選した 92 作品が、全国コンクールへ出品されます。藤嶋氏による応募作品の講評動画は、豊田市電子図書館で視聴できます。ぜひご覧ください。

12月の展示

※展示期間の詳細は図書館までお問い合わせください。

3階

整 ひととのう～

よもよも × 豊田市美術館
「ゲルハルト・リヒター」
展覧会関連資料展示(豊田市美術館連携)

メリークリスマス

【ティーンズ】おしえて!みんなのお仕事

日本全国文学巡りの旅～九州地方編～

【SDGs】

パートナーシップで目標を達成しよう
(豊田市未来都市推進課連携)

4階

愛知県政 150 周年展示

人生会議～もしものときのために～

あつまれジブリ

【自動車】

WRC が豊田市にやってくる!!

5階

人権を考える

【映画】レジェンド&バタフライ
(イオンシネマ豊田 KitarA 連携)

インフレと投資 金融セミナー
(野村證券株式会社連携)

【企画展示】
ありがとう旭歌舞伎～その 42 年の軌跡～
in 豊田中央図書館(豊田市文化振興財団主催)

【企画展示】
とよた市民活動センター登録団体の紹介
(とよた市民活動センター主催)

出張とよしば

北欧

12月の図書館カレンダー

1 木	特別整理休館 2日(金)まで
2 金	
3 土	調べる・伝える学習コンクール入賞作品展(12/25まで)
4 日	
5 月	休館日
6 火	
7 水	読書指導者養成講座 / 読書指導者研修会
8 木	
9 金	
10 土	音訳ボランティアレベルアップ講座 / 勝田貴元選手ファンミーティング
11 日	新聞切りぬき作品づくりにチャレンジ
12 月	休館日
13 火	
14 水	
15 木	

16 金	
17 土	音訳ボランティアレベルアップ講座
18 日	クリスマスおはなし会
19 月	休館日
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	ぬいぐるみのおとまりかい
24 土	ぬいぐるみのおとまりかい
25 日	ぬいぐるみのおとまりかい
26 月	休館日
27 火	
28 水	年末年始休館
29 木	12月28日(水)～1月4日(水)
30 金	
31 土	

よみりん・かたるん 4コマ劇場



PICK UP イベント情報



第10回 豊田市 学校や地域の図書館を使った
調べる・伝える学習コンクール 入賞作品展

内容 ▶ 今年度の調べる・伝える学習コンクール入選作品
のうち、優良賞以上の入選作品を展示します



と き 12月3日(土)～12月25日(日)
時 間 午前10時～午後8時
場 所 中央図書館 3階特集展示コーナー

シラベルくん
©(公財)図書館振興財団



不安解消!
トラブルにならない終活のススメ

内容 ▶ エンディングノートに何を書けばいい?
終活の疑問にお答えする講座です

と き 1月7日(土) 午後2時～4時
場 所 中央図書館 6階多目的ホール
定 員 40人 ※先着 対 象 どなたでも
講 師 中村 弥生 氏(弁護士法人たいよう総合法律事務所 代表)
申込み 12月6日(火) 午前10時から
電話または中央図書館各階総合案内、HPにて受付



クリスマスおはなし会

内容 ▶ クリスマスにちなんだ特別なおはなし会です
参加してくれたお子さまにプレゼントをお渡しします

と き 12月18日(日) 午後2時～3時
場 所 中央図書館 6階多目的ホール
定 員 30人 ※先着
対 象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)
申込み おはなし会当日、先着順に受付



年末年始休館のお知らせ

期間: 12月28日(水)～1月4日(水)

- ・上記の休館に伴い、12月14日(水)～27日(火)の間、貸出期間を延長します。
- ・参考館1階南側の返却ポストは、休館中も利用できます。ただし、CD、大型絵本、エプロン・パネルシアター、相互貸借資料は返却ポストの利用はできません。

よもよも

豊田中央図書館だより vol.27
2022年12月1日発行

〒471-0025 豊田市西町1-200 豊田参考館内 TEL 0565-32-0717
休館日 月曜日(祝日、夏休み期間は開館)、年末年始(12月28日～1月4日)
特別整理休館日(11月29日～12月2日) 開館時間 午前10時～午後8時

豊田中央図書館は、指定管理者株式会社図書館流通センター・ホームックス株式会社共同企業体が管理・運営を行なっています。

中央図書館 HP
図書の検索・予約
利用案内はこちら

